

陶芸館展覧会

特別企画展

湯呑茶碗—日本人がこよなく愛したやきもの

～ちょっと昔の日本を旅しよう! 全国・湯呑茶碗づくし～



(写真左)河井寛次郎「鉄絵草花図湯呑茶碗 清水焼(鐘漢窯)」/1900年代前半
(写真右)奥田道遊「白泥彫刻薫風文湯呑茶碗 秋田焼」/1900年代前半(大正時代～昭和時代前期)

湯呑茶碗は、日本人に最も親しみのある「やきもの」です。個人専用の湯呑茶碗や夫婦茶碗の存在は、日本独特の器文化といえるでしょう。とくに明治時代末期から昭和時代前期には、日本各地の名所や名物を表現した個性豊かな湯呑茶碗が数多く焼造されました。

本展では、小さな器に当時の名工や作家の技とこだわりを發揮した、当館の「坂口恭逸湯呑コレクション」を紹介し、日本人がこよなく愛した湯呑茶碗の魅力に迫ります。

2023.3.11(土)
▼
6.25(日)

入場料 一般 550円(440円) 高大生 410円(330円)
中学生以下無料
*()内は20人以上の団体料金

▶ギャラリートーク
3月19日(日)・4月23日(日)・5月21日(日)
※各日とも13:30～

特別展

岡本太郎 アートの夢 陶壁・陶板・21世紀のフィギュア造形

～大衆にじかにぶつかる芸術を～

「一般大衆にじかにぶつかる、社会にひらかれた芸術を実現したい。」と記した岡本太郎。暮らしの中で人と芸術をつなげてきた陶壁や美術陶板。岡本太郎による1954年制作の「犬の植木鉢」は、どのように量産を試みられたのか?また今、私たちにアートを身近に楽しませてくれる21世紀のフィギュア造形や、フレスコ画家による新しい発想の壁画など、岡本太郎が願ったアートの夢、21世紀のその先を見つめます。



(写真右)大塚製菓株式会社Hi-zタワー「躍動する生命」
1983年(2000年改修) / 原画:岡本太郎
製作:大塚オーミ陶業株式会社
(写真下)岡本太郎「犬の植木鉢」/1954年



藤本圭紀「The Garden
～Take your time～」
2021年/個人蔵

パート1
2023.7.15(土)
▼
9.24(日)

パート2
2023.9.30(土)
▼
12.17(日)

入場料 一般 700円(560円) 高大生 530円(420円)
中学生以下無料
*()内は20人以上の団体料金

▶ギャラリートーク
8月20日(日)・10月15日(日)・11月19日(日)
※各日とも13:30～

特別展

リサ・ラーソン展 知られざる創造の世界

～クラシックな名作とともに～

人物や動物、テーブルウェアなどスウェーデンの陶芸デザインで知られるリサ・ラーソン(1931年～)の展覧会を開催します。おなじみの代表作とともに、今回初めて紹介されるスウェーデンの旧市街をモデルにしたレリーフや少数しか生産されなかったコレクターズアイテム、グスタフスベリ磁器工房やみずからの工房で制作した1点ものの作品など、これまで知られていなかったもうひとつの彼女の魅力と出会う作品約250点を展示します。



①



②



③



④

①リサ・ラーソン「小さなネコ」
製造1965年/個人蔵
②リサ・ラーソン「旧市街」
製造1963-1978年/個人蔵
③リサ・ラーソン「ネコのトラップ
(トリップ・トラップ・トゥルル
シリーズ)」/製造1972-1974年
(デザイン1968年)/リサ・
ラーソン蔵
④リサ・ラーソン「エンマ/ABC
少女シリーズ」/本モデルは
1958-1973年に製造。本作
品は1971年に製造/リサ・
ラーソン蔵

©Lisa Lason/Alvaro Campo

2024.3.2(土)
▼
5.26(日)

入場料 一般 850円(680円) 高大生 640円(510円)
中学生以下無料
*()内は20人以上の団体料金

▶ギャラリートーク
3月24日(日)・4月28日(日)・5月12日(日)
※各日とも13:30～

年間スケジュール 2023 4 5 6 7 8 9 10 11 12 2024 1 2 3

陶芸館 (美術館)	展覧会 特別企画展 「湯呑茶碗—日本人がこよなく愛したやきもの」 3/11㊤～6/25㊤				特別展「岡本太郎 アートの夢—陶壁・陶板・21世紀のフィギュア造形」 【パート1】7/15㊤～9/24㊤								特別展「リサ・ラーソン展 知られざる創造の世界 —クラシックな名作とともに」 3/2㊤～5/26㊤			
ギャラリー	陶芸館・ 新収蔵の逸品展 3/11㊤～4/23㊤	アーティスト・イン・レジデンス企画 「秋永邦洋・竹内紘三—Reunion」展 4/29㊤㊤～6/25㊤			夏休み企画 子どもたちの土の造形展 7/15㊤～9/3㊤			特別展「岡本太郎 アートの夢—陶壁・陶板・21世紀のフィギュア造形」 【シーン4】川田知志「風景・壁画の新天地へ」(仮) 9/30㊤～12/17㊤						陶芸館・ 新収蔵の逸品展 3/2㊤～3/31㊤		
信楽産業 展示館	展覧会 信楽焼産業総合展 4/1㊤～3/31㊤															
ギャラリー	ほろ酔いうつわと地酒展 3/25㊤～5/21㊤	信楽焼ビアカップ展 5/27㊤～7/23㊤			いまだき、しがらき、かやりき展 7/29㊤～9/24㊤			飯碗と茶の器展 9/30㊤～11/26㊤			令和6年干支(甲辰)展 12/2㊤～1/14㊤		信楽焼の動物展 1/20㊤～3/17㊤			
つちっこプログラム		ねんどと遊ぶ ちょっとだけ陶芸体験 5/3㊤㊤・4㊤㊤			子どもやきものシリーズ「特別講座」 7/22㊤・23㊤・29㊤・30㊤			ねんどと遊ぶ ちょっとだけ陶芸体験 9/16㊤・17㊤								
野外イベント		信楽作家市 5/2㊤～5㊤㊤						セラミック・アート・マーケット in陶芸の森 9/16㊤～18㊤㊤		しがらき森の クラフトフェスタ 11/4㊤・5㊤		わくわくウォーキング 12/3㊤				
信楽町内イベント					しがらき火まつり 7/22㊤					朝宮茶まつり 11/23㊤㊤						
	窯元散策路 ぶらり窯元めぐり 3/31㊤～4/2㊤				信楽高原鐵道七夕列車 7月上旬			信楽陶器まつり 10月上旬		信楽たぬきの日 11/8㊤:記念日		信楽高原鐵道サンタ列車 12月中旬～12/25㊤		信楽高原鐵道ひなまつり列車 2月上旬～3月上旬		

令和5年度 実技講座シリーズ

しがらき学ノススメ! 事前申込制/抽選あり

陶芸を始めた方からより高い技術の習得を目指す方まで!

信楽焼に親しんでいただくため、「しがらき学ノススメ!」を開催しています。初心者向けの講座では陶芸家の丁寧な指導のもと、初歩から陶芸を学ぶことが出来ます。もう少し深く陶芸を学びたい方にはラク焼、ミニ窯づくりなどの講座で一步踏み込んで、作陶技術の向上を目指すことができます。講座に参加してあなただけの宝物をつくってみませんか。詳細内容、スケジュール等についてはホームページでご確認ください。[しがらき学のススメ!][HP▶](#)



つちっこプログラム

滋賀県立陶芸の森 & 世界にひとつの宝物づくり実行委員会



学校などの団体を随時受付し、鑑賞、見学、制作体験活動を組み合わせたプログラムを行います。

- ▶学校・団体向け体験講座 通年/事前申込制
- ▶親子向け講座
- ▶学校向け講座
- ▶休日に「ちょっとだけ陶芸体験」
「ねんどと遊ぶ」 予約なし/当日先着順
- ▶子どもやきものシリーズ
「特別講座」 事前申込制/抽選あり



開園・開館カレンダー

2023.4 ▶▶▶ 2024.3

2023 4 April	2023 5 May	2023 6 June
2023 7 July	2023 8 August	2023 9 September
2023 10 October	2023 11 November	2023 12 December
2024 1 January	2024 2 February	2024 3 March

● … 陶芸の森 休園日 ● … 陶芸館 休館日



※駐車場【無料】 普通車約250台、大型バス約10台

- 《 アクセス access 》
- JR草津駅より 草津線乗り換え「貴生川駅」下車、信楽高原鉄道乗り換え「信楽駅」下車、徒歩20分(約75分)
 - 信楽高原鉄道「信楽駅」より 甲賀市コミュニティバス「陶芸の森前」または「陶芸の森(陶芸館前)」下車(約5分)
 - 京阪神方面から 名神高速道路 草津JCT → 新名神高速道路へ新名神高速道「信楽I.C.」より約8分
 - 奈良・和歌山方面から 西名阪自動車道 → 名阪国道へ「壬生野I.C.」より約30分
 - 名古屋方面から 東名阪自動車道 亀山JCT → 新名神高速道路へ または新名神高速道路 亀山西JCT → 新名神高速道路へ新名神高速道「信楽I.C.」より約8分

《 ご利用案内 information 》

滋賀県立 陶芸の森
〒529-1804 滋賀県甲賀市信楽町勲旨2188-7
TEL:0748-83-0909/FAX:0748-83-1193

- Web: <https://www.sccp.jp>
- Email: togeinomori@sccp.jp
- 開園時間: 午前9時30分～午後5時00分(陶芸館・信楽産業展示館への入館は午後4時30分まで)
- 休園日: 月曜日(月曜日が祝日の場合は、その翌日) 年末年始
- 陶芸館のみ展示替え期間および冬期は休館します。開園・開館カレンダーをご確認ください。

新型コロナウイルス感染症の流行状況等により、予定が変わる可能性があります。詳細はホームページでご確認ください。



土が織りなす芸術にふれて。

陶芸の森

年間スケジュール

2023.4 ▶▶▶ 2024.3



The Shigaraki Ceramic Cultural Park

(表紙デザインについて)陶芸の制作過程と、完成した芸術品としての陶器をモチーフにしています。

施設案内

The Museum of Contemporary Ceramic Art
陶芸館(美術館) ドーム空間で楽しむ陶芸の美

国内外の現代陶芸や陶磁器デザイン、長い歴史の中で育まれてきた古陶磁、滋賀のやきものなど、陶芸を様々な角度から紹介する美術館です。お気に入りの一点がきっと見つかります。

ミュージアムショップ 6SENSES
展覧会ごとになる特集商品の他、陶芸の森オリジナルグッズ、便利な作陶グッズや書籍などを取り揃えています。やきもの“がちやがちや”が人気です。



Exhibition Hall of Industrial Ceramics
信楽産業展示館 信楽焼の今を知りたいならココ!

様々な企画を織り込みながら、信楽焼の日用雑貨、花器類、庭園陶器類等の産業製品を幅広く展示・紹介しています。また、しがらき焼ショップやレストラン、信楽ホールを併設しています。

しがらき焼ショップ 直通 ☎0748-83-1755
伝統的な信楽焼陶器から若手作家の新しい信楽焼まで取り揃えています。

山とおむすび 銀月舎 直通 ☎0748-83-2882
信楽焼の羽釜で炊いたおむすびと様々なスープなどをご用意しています。



Artist in Residency Program -The Institute of Ceramic Studies
創作研修館 アーティスト・イン・レジデンス・プログラム

アーティスト・イン・レジデンス・プログラム
滋賀県立陶芸の森のアーティスト・イン・レジデンスでは、世界各国から陶芸家を受け入れ一定期間滞在し、お互いに交流しながら作品の制作に取り組む場を提供しています。その数は現在までで、55カ国延べ1420人あまりになります。制作の場の見学を希望される方は、管理事務所までお越し下さい。



創作研修館オープン・スタジオ(不定期開催)
「創作研修館オープン・スタジオ」として、スタジオ公開日を設け、アーティストによるレクチャーやワークショップ等を開催します。

ゲスト・アーティスト滞在スケジュール(予定)
今年度、以下の作家をお招きし作品の制作にあたっていただく予定です。

2023年		2024年	
4～6月	Matthieu Manche (フランス/日本在住)	1～3月	Michal Farago (イスラエル)
6～8月	カブチャあさみ(日本/ペルー在住) Sandro Capcha(ペルー)	1～3月	Miadzvedzeva Hanna (ベラルーシ)
7～9月	Priya Sundaravalli(インド)	1～2月	Katharina Klug (オーストリア)

オープン・スタジオ、ゲスト・アーティストの内容や日程については、事前にホームページにてご確認ください。

陶器即売イベント

陶芸家をはじめとする作家が作品を展示販売します

▶ **第17回信楽作家市** 主催:信楽作家市実行委員会
日時 5月2日(火)～5月5日(金・祝)
9:00～17:00 ※荒天中止

▶ **第28回セラミック・アートマーケットin陶芸の森**
日時 9月16日(土)～9月18日(月・祝)
9:00～17:00(最終日は16:30まで)

▶ **第3回しがらき森のクラフトフェスタ**
主催:しがらき森のクラフトフェスタ実行委員会
日時 11月4日(土)・11月5日(日)
9:00～16:00

